

砂遊びの楽しさ 幼児教育に

八学短大生 白浜で砂浜彫刻体験

八戸

八戸学院大短期大学部(杉山幸子学長)幼児保育学科の学生ら約250人は24日、八戸市の白浜海岸で、砂浜彫刻の制作に取り組み、地元の海の魅力を体感しながら幼児教育で効果的な砂遊びについて学んだ。

砂はさまざまな形になるほか、失敗しても作り直しがで

き、子どもの創造性を育む上で最適な素材という。保育者を目指す学生の将来に役立ててもらおうと、2006年度から実施している。

学生はゼミごとのグループに分かれ、本年度のテーマ「続」に沿った作品をそれぞれ制作。約2時間半で、四つ葉のクローバーや電車などアイデア満載の作品を仕上げた。

タコを作った同科2年の橋

砂浜で四つ葉のクローバーを制作する学生ら



場愛香さん(20)は「自分が楽しんでいると、それが子どもにも伝わる。砂遊びの楽しさ

を学べたので保育士になった時に生かしたい」と話した。(松橋瑠偉)